

10403312-019

○3年次演習関連科目1-19（国際マネタリーエコノミクス2）

2単位/Unit 春学期/Spring 今出川/Imadegawa 講義/Lecture

Third Year Advanced Seminar 1-19（International Monetary Economics 2）

杉本 篤信

<概要/Course Content Summary >

経済のグローバル化が進み、一国経済の動向や経済政策を考察するのにも、対外的な相互依存を理解することが必要となってきた。特に、国際収支、外国為替取引についての制度、理論的知識は必須となってきた。本講義では「国際マネタリー・エコノミクス1」での講義に基づき、為替レートと国際収支との関連、開放経済下のマクロ経済政策、国際資本市場、通貨危機などを中心に講義する。基本的な国際収支、為替レートの理論を前提に講義を進めるので（適宜学生の理解度の確認、復習は行すが）、各自「入門国際金融」（テキスト第1～第7章の部分）は復習しておいてください。

<到達目標/Goals,Aims >

国際収支、外国為替取引に関する知識をもち、現実の経済の動向を理解できるようになること

< DO Week 期間の初回動画等の配信/The delivery of the first video, etc. during the "DO Week" >

あり / Deliver the video

URL は各学期の DO Week 開始日までに公開されます。The URL will be available by the day before the start of the DO Week of each semester.

<授業計画/Schedule >

実施時期/Week	授業回/Number of Lesson	授業実施方法/How to Conduct a Lesson	授業実施時間数/Class Hours
	内容/Contents		
	授業計画外の学習/Assignments		
第1週 DO Week	1	オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	90分/min.
	はじめに（基本的理論の復習と講義内容について） 2年次演習関連科目の復習		
第2週	2	面接/Face-to-face	90分/min.
	外国為替市場介入政策 テキストの該当部分の予習		
第3週	3	面接/Face-to-face	90分/min.
	ポートフォリオ・バランス・アプローチ テキストの該当部分の予習		
第4週	4	面接/Face-to-face	90分/min.
	為替レートと国際収支調整（1）弾力性アプローチ テキストの該当部分の予習		
第5週	5	面接/Face-to-face	90分/min.
	為替レートと国際収支調整（2）アブソープション・アプローチ テキストの該当部分の予習		
第6週	6	面接/Face-to-face	90分/min.
	為替レートとマクロ経済（1）ケインズ派と古典派 テキストの該当部分の予習		
第7週	7	面接/Face-to-face	90分/min.
	為替レートとマクロ経済（2）開放経済下のマクロ経済政策 テキストの該当部分の予習		
第8週	8	面接/Face-to-face	90分/min.
	国際資本移動と国際資本市場（1）資本移動の経済的意義 テキストの該当部分の予習		
第9週	9	面接/Face-to-face	90分/min.
	国際資本移動と国際資本市場（2）資本移動の実態と国際資本市場 テキストの該当部分の予習		

第 10 週	10	面接/Face-to-face	90 分/min.
	国際収支危機（1）債務危機 テキストの該当部分の予習		
第 11 週	11	面接/Face-to-face	90 分/min.
	国際収支危機（2）通貨危機 テキストの該当部分の予習		
第 12 週	12	面接/Face-to-face	90 分/min.
	国際収支危機（3）第 1 世代モデルと第 2 世代モデル テキストの該当部分の予習		
第 13 週	13	面接/Face-to-face	90 分/min.
	新国際通貨制度の枠組み（1）IMF の役割と問題点 テキストの該当部分の予習		
第 14 週	14	面接/Face-to-face	90 分/min.
	新国際通貨制度の枠組み（2）ユーロ危機とその対応 テキストの該当部分の予習		
授業期間終了後/ After the Class Period	15	オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	90 分/min.
	まとめ（テスト） 今までの復習		

受講者の理解度により、一部変更する可能性はあります。テストでは、持ち込み参照がありますので、用語などを暗記するより、ロジックを理解することに心がけてください。2 年次演習関連科目での内容を習得していることを前提にしています。単位が取れていない方は、「為替レート決定理論」、「国際収支とマクロ経済との関連」についてあらかじめ学習しておくことが望ましい。

授業実施方法/How To Conduct a lesson	授業実施時間数/Class Hours
面接/Face-to-face	1170 分/min.
オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	180 分/min.
オンデマンド（授業内課題）/On-demand(assignment in class)	0 分/min.
リアルタイム配信/Real-time online	0 分/min.
その他/Others	0 分/min.
総合計/Totlal Amount class hours	1350 分/min.

アクティブラーニング/Active Learning

発見学習 / Discovery Learning, 調査学習 / Research Based Learning, ディスカッション / Discussion

使用システム/System tools

e-class

<成績評価基準/Evaluation Criteria >

小レポート 25%

提出, 内容理解度

小テスト 25%

講義内容の理解度

期末試験 50%

講義内容の理解度

適宜, 理解度を確認するため, レポート, 小テストを行います。

<テキスト/Textbook >

高木信二『入門国際金融』第 4 版（日本評論社, 2011）

<参考文献/Reference Book >

藤井英次『コア・テキスト国際金融論』第 2 版（新世社, 2014）

講義中に指示します。

<連絡方法/Contact method >

科目担当者への連絡方法/Contact method from student to instructor

e-class

科目担当者からの連絡方法/Contact method from instructor to students

e-class

<備考/Remarks >

授業形態：対面